

歴史的なまちづくりのために
「歴史的風致維持向上計画」
の策定を!



末吉 利啓
議員

問 足利の歴史ある個性を生かした魅力的なまちづくりを行うには、「歴史的風致維持向上計画」の策定をし、関係部局が組織横断的に連携することが必要と考えられているか。

教育次長 本市では、平成23年3月に「足利市歴史文化基本構想」を策定している。同構想で示された文化財の保存と活用の指針を生かしながら、「歴史と文化のまち」にふさわしいまちづくりを進められるよう、関係部局全体でさらに連携を密にし、景観形成に努めていきたい。



▲鑱阿寺周辺

◆地域コミュニティ

問 自治会等の地縁型コミュニティは高齢化という大きな課題を抱えている。講座等を実施するなど、10年後、20年後を見据えた対策を行うべきではないか。

生活環境部長

自治会顕彰を平成27年度に創設し、顕彰を受けた町内が実施する取り組みを紹介している。県や県コミュニティ協会が実施している研修等もあり、研修への参加や県等からの講師派遣について、足利市自治会長連絡協議会と協議していきたい。

道の駅の早期実現について
問う!



杉田 光
議員

問 道の駅事業は足利市まち・ひと・しごと総合戦略で根幹に据えるさまざまな取り組みとマッチングでき、その実現により大きな相乗効果が期待できると確信しているかどうか。

政策推進部長

道の駅とシティブロモーションを連携することで、さらなる情報発信が可能となる。また、道の駅が地域コミュニティの再生につながった事例はスマートウェルネスシティ構想につながる部分もあるなど、相乗効果が期待できると考えている。

◆スポーツ振興

問 自転車ロードレース「ツール・ド・ちぎ」の開催は、世界から多くの来訪者が期待できる。これを大きなチャンスと捉え、幅広い波及効果をもたらすことができるよう、本市独自の実行委員会等を早期に立ち上げ、準備を進めるべきではないか。

市長

初大会ということでもまだ手探りの部分が多いが、本市は初日のゴールとなる予定であり、非常にたくさんの方に注目されるイベントになる。このチャンスを見逃さないよう十分準備を進めていきたい。



▲自転車ロードレースの様子

刀剣効果を「過性のもの」に
しないために!



大谷 弥生
議員

問 オンラインゲームの影響で日本刀に興味を持つ女性がふえている。本市ゆかりの脇差（堀川国広作・国認定重要美術品）とそのレプリカを市立美術館と足利学校に展示し、来場者が増加したが、今後の取り組みをどのように考えているのか。

教育次長

来場者アンケートを十分に分析し、来訪者ニーズの情報収集に努め、「また足利に行きたい」と思っていただけのような企画を市立美術館、足利学校とともに展開していきたい。



▲市立美術館に展示された堀川国広作の脇差

◆足利市子ども発達支援センター

問 同センターは狭い施設のため、利用者が増加により十分な療育を受けられない状態となっている。施設の移転等、抜本的な対策を考えるべきではないか。

福祉部長

発達に遅れがある子供の早期発見に向けた連携体制が定着する中、センターの利用希望者がふえており、設置運営主体である足利市社会福祉協議会と今後のあり方について話し合いを進めている。移転、設置費用などの課題があるが、療育を必要とする子供たちのための環境整備に向けて、さらなる検討を進めていきたい。